

# プラント状況確認結果(平成28年11月29日～平成28年12月6日)

平成28年12月6日  
福島県原子力安全対策課

平成28年11月29日～平成28年12月6日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりであり、前回の報告から大きな変動はありません。

## (1) プラント状況(12月6日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 <sup>※2</sup>
原子炉 <sup>※1</sup> (核燃料)	冷却	注水量(m <sup>3</sup> /h)	4.4	4.3	4.4	—
		圧力容器 下部温度(°C)	<u>20.0</u>	<u>24.5</u>	<u>23.1</u>	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 <sup>※3</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> )(A系)	1.00×10 <sup>-3</sup>	検出限界値 未満	検出限界値 未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (体積%)(A系)	0.00	0.02	0.03	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	19.2	20.3	19.4	17.8

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧ください。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 実施計画に定める制限値は、1Bq/cm<sup>3</sup>以下である。

## (2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果(12月6日午前10時)

最小 0.579(MP-6)～最大 2.096(MP-4)マイクロシーベルト/時 [⇒計測地点の地図](#)

## (3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果(12月5日採取分)

最小 検出限界値未満(6号機取水口前、港湾口)Bq/l ※各検出限界値は約0.55、0.52Bq/l  
～最大 3.3(1～4号機取水口内北側)Bq/l

## (4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果(12月5日採取分)

5,6号機放水口から北側に30m: 検出限界値未満 ※検出限界値は約0.57Bq/l  
1～4号機放水口から南側に1.3km: 検出限界値未満<sup>※4</sup> ※検出限界値は約0.58Bq/l  
※4 台風10号の影響により、試料採取地点の安全が確保できないため、1～4号機放水口から南側に約330m地点において試料を採取。(2016年9月16日～)

## (5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果(12月5日採取分)

西門: 検出限界値未満 ※検出限界値は約1×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

## (6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果(12月5日採取分)

最小 検出限界値未満(3,4号機) ※各検出限界値は約5.3、4.8Bq/l  
～最大 180(2号機)Bq/l

(問い合わせ 024-521-7255)